

討論

平成28年度一般会計決算に対し、4名の議員が討論を行いました。その概要を討論者が要約してお知らせします。

反対

日本共産党
吉川市議員団
佐藤 清治

賛成

未来会議よしかわ
林 美希

賛成

公明党
吉川市議員団
五十嵐恵千子

賛成

市民の会・無所属
濱田 美弥

補正予算を可決

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ9億6405万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額は、それぞれ271億863万1000円となりました。

また、債務負担行為について、平成29年度から35年度を期間とする生活保護システム貸借事業が、2987万2000円で定められ、他に4件が定められました。

なお、特別会計の補正予算は、下表のとおりとなっています。

●特別会計補正予算

(単位：千円)

会計別	補正額	歳入歳出予算総額
国民健康保険	284,991	8,725,070
農業集落排水	2,272	33,504
介護保険	66,583	3,459,589
後期高齢者医療	130,283	3,472,984

市長提出議案

前ページから続き

一般会計補正予算 こんなことに使われます

市民交流センター おあしす改修事業

594万円

新庁舎と市民交流センターおあしすの一体的な活用に向けたおあしすの改修工事を行います。



観光振興事業

233万8000円

市のシンボルのなまずをPRするため、なまずの石像を制作し、新庁舎に設置します。



公共交通機関 整備改善推進事業

515万4000円

市街化調整区域にお住いの75歳以上の方を対象に、タクシードライバーを活用した新たな公共交通システムの試行を行います。

今年度から地方交付税にトップランナー方式が導入され、吉川市では936万9000円の影響があったと試算されている。地方交付税は、どの自治体にも標準的な行政サービスとの財源を保障するもので、地方交付税本来の趣旨に反している。待機児童ゼロを目指すとして保育所整備を図ってきたが、すべて民間頼みです。

市は行政改革として第2保育所の民間委託を計画していますが、これを中止して市の責任を果たすべきです。

学校給食費が野菜等食材の高騰、消費税の引き上げを理由に市は何の補てん策も取らず、保護者にすべて転嫁、学校給食費を値上げしました。

子どもの貧困が大きな社会問題となっている今こそ給食費の軽減策を実施すべきです。

市制施行20周年事業記念について、当初の目的は達したとしているが、さらに検証を進める必要がある。

道路維持費の予算は、減額されており市民要望にこたえるべきです。

国・県の政策や動向を鑑み、人事交流をもって連携を図り、「第5次総合振興計画」前期基本計画から後期基本計画への展開と、「吉川市まち・ひと・しごと総合戦略」を踏まえ編成された28年度予算。うち、特徴的であった①「郷土愛醸成」に寄与すべく市民との協働で開催された複数の市制施行20周年記念事業②市民のいのちと財産を守るべく取り組まれた「減災プロジェクトin美南小学校」を含む数々の防災・減災事業③育児による精神的負担の軽減を図るべく、複数の事業の組合せで支援する「教育大綱」制定。

これら施策・事業と、広聴の機会を数多く捉え、市民の声を政策決定のプロセスに組み入れ、スピード感を持って反映されたことを高く評価する。

20年先を見据えた施策展開がなされた1年であり、今後も協働による市政運営がなされることに期待し、平成28年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定についての賛成討論とする。

平成28年度の日本経済は好循環が生まれ始めましたが、一方で好影響が全体に及ばず、個人消費が低迷。また、世界経済はトランプアメリカ大統領の就任等、自国優先保護主義の潮流が起り、北朝鮮の暴挙はリアルさを増し先行き不透明。その様な国内外の情勢下、当市では市制20周年記念の新たな歴史が刻まれ、市庁舎建設・吉川美南駅東口整備・新中学校建設の3大課題は、市民の声を聞きながら、議会にて大筋の方向性が決定された事をまずは評価致します。

注目すべき点としては、吉川市子ども・子育て支援事業計画に基づき、産前・産後ヘルプサービス事業の開始、認可保育・小規模保育施設での受け入れ定員人数247人の増、障害福祉施策の拡充、子どもの学習支援事業の拡大等を高く評価。また、防災対策事業では、災害時情報伝達ツールの充実。その他、ふ

伝達ツールの充実。その他、ふたぐ頸がんの集団検診日拡充等も高く評価。今後も市民と共に様々な課題解決へ取り組み、賛成と致します。

平成28年度は、中原市政にとつて2年目の市政運営の年でした。熊本の大地震を受けて防災拠点となる新庁舎の耐震化についての議論も活発に行われました。また、被災直後の熊本を視察され、市として実際にどのような事が出来るのかを率直に話し合っ

て行われた美南小学校を会場として総合防災訓練「減災プロジェクト」では本番さながらに細かなシナリオなく自助・共助を中心とした訓練が行われました。多岐に渡つての事業を一つ一つこなされスピード感をもって実行する中原市政の特徴がよく表れた1年となつたと評価します。

ただ、スピード感ばかりではなく、案件によっては市民の声をしっかりと聞き、議論する場を作り、市民力を上げていっていただきたく存じます。また、20周年事業は効果や課題等をしっかりとし、一過性のものとせず、より良いものとして継続していただきたく存じます。実効性ある取り組みをオール吉川でさらに推進されることを期待し、賛成の討論といたします。